

第 549 回 例 会

25年6月21日

本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 榎本 仁 会員
「C型肝炎の治療のその後」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

次回(6月28日)のプログラム

- ・ゴング引渡し式
時間 18:30 ~
場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

先週(6月14日)の例会報告

■会長の時間

【怨みに報ゆるに徳を以てす】

中国の故事。

うらみのある者に対して、いつまでも根にもって、ひどいめにあわせてやろうなどとは思わず、博愛の心によって、恩徳を施してやらなければならないという意味。

『論語』にも『老子』にも出てくる句で、当時の中国ではかなりよく知られた金言だったのではあるまいか。

このことばに接すると聖書のなかのキリストの教訓を思い出す。「マタイによる福音書」第五章第三十三節に、「もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。あなたを訴えて、下着を取ろうとするならば、上着をも与えなさい」とある。自分を害する者がいても、うらんだりしないで、かえって親切をかえしてやりなさいとこれも説いている。同じように人間のとらなければならない態度について教えているのだが、微妙なちがいがあ

る。「怨みに報ゆる……」の考え方のほうが少し積極的で、おおらかに感じられる。が、「右の頬を……」には、どこか悲壮感がたどよい、必死な隣人への献身の姿がみえるようである。事実、イエスは、裏切られ、蔑まれ、あらゆる心身の苦痛を与えられても、誰も憎まず、神に許しさえ乞い、相手のなすがままに身をゆだね、十字架の上で死んでいる。

いっぽうは、もっとからりとしている。自分の財布を奪おうと襲ってきた強盗と争って勝ち、事情を聞いてやって、「そうか。そんなに困っているのなら、みんな持っていけ、困ったらまたこいよ。強盗をはたらくような見を起さずにな、ホレ」と、財布を投げ与えてニコニコしている金持といった様子がかがわれる。どうだろうか。

昭和20年、第二次世界大戦に日本が敗れたとき、当時の中華民国の大統領、蒋介石が、日本人の処遇について命令した布告のなかに、「怨に報ゆる……」の句が引用され、それがある程度実行されたのは有名な話である。現在にいたるまで、さまざまな評価がされているが……。

もし、うらみを受けるような行為を相手に心ならずもしたとして、恩徳をもって接してこられたらどうだろうか。きわめて個人的な感情で一般的ではないだろうが、多分、気味が悪くなって、逃げ出してしまふのではあるまいか。いや、そうするにちがいない。

「なにをされるかわからない。想像していたより恐ろしい奴だ」といった思いにとらわれ、ふるえるかもしれない。

まったく小人は養い難しである。

【来客紹介】 1名

【出席報告】

| 25年6月14日(第548回例会) | | | | |
|-------------------|--------|------|------|--------|
| 会員総数 | 出席免除会員 | 出席会員 | 欠席会員 | 出席率 |
| 32名 | 2名 | 19名 | 11名 | 63.33% |

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1) 第12回理事会報告・第3回準備理事会報告
- 2) ゴング引渡し式のご案内
- 3) 会員名簿確認のお願い

[回覧資料]

- 1) 青少年交換プログラム 2014~2015年度派遣学生募集のお知らせ
- 2) 他クラブより例会変更のお知らせ(門真RC)
- 3) 例会場変更・事務局移転のお知らせ(大阪天満橋RC)

ニコニコ箱(0月0日)

秋山 千尋 = 昨日6月13日、第3回IM会長・幹事会が開催されました。当クラブからは、高野会長、大屋幹事、次期幹事の鈴木さんが出席されました。御苦労様でした。

河田 英子 = 明日は学園のインターナショナルDayです。18名の外国よりのお客様をお迎えます。

こども達が英語でインタビューをします。楽しみです！

小林 知義 =それにしても暑いです。梅雨が始まる前に夏が来たという感じですね。

森本 良嗣 =どちら様もお暑うございます。

斧原 邦夫 =今日は秋山さんの巡回クラブの特徴を伺える事を楽しみにまいりました。秋山さん、ご苦労さまでした。

大輪有加子 =ちょっと嬉しいことがありました。

鈴木 正明 =暑い日が続いて、現場事務所はサウナ風呂状態です。

| | | | |
|---------|-------|-----------|----------------|
| 【SAA報告】 | ニコニコ箱 | 本日計 7000円 | 今年度合計 3209268円 |
|---------|-------|-----------|----------------|

卓話(6月14日)

「国際ロータリー第2660地区 IM第5組ガバナー補佐、エレクトとして各クラブを訪問して」 秋山 千尋 会員
2011年～2012年ガバナー補佐エレクトとして、2012年～2013年ガバナー補佐として 12クラブ4回訪問してのアラカルト。

【総称】各クラブ共「アッセンブリー」は非常に前向きで真面目であった。又、ビジター訪問時のクラブ例会は毎回、新規性を取り入れようと努力している様子が見えるクラブも多かった

〔12クラブ訪問アラカルト〕

- 1、例会時ロータリーソングと童謡(古里、赤トンボとか)を歌うクラブが多かった。
 - 2、四つのテストも歌にして唱和している ①真実かどうか、みんなに公平か～…と覚えやすい。
 - 3、ラッキーカードを実施してクラブを盛り上げている(6クラブ)
 - 4、ニコニコ箱は全てのクラブ実施(特に訪問時はガバナー補佐、エレクト歓迎の言葉で表現)
 - 5、例会日の当日の次第、次回例会の予定等詳しく電子掲示板を使い例会を活性化している。
 - 6、いろんな同好会、趣味の会を設置し会員の家族も参加出来るようにしている。
 - 7、ファミリー会員を設置し奥様や家族を入会させて主人の退会防止の歯止めとする。
 - 8、各クラブの共通した一番の悩みはやはり退会者の件、入会者より退会者が多い件。
 - 9、クラブで大きな問題が発生したクラブ程改善対策が進んで居り自浄能力が機能している。
 - 10、12クラブ中9クラブは海外RCと友好クラブ、姉妹クラブを提携している。
 - 11、多数のクラブ会員が在籍しているクラブより少ないクラブへ会員を移転させて欲しい。
 - 12、クラブ会員減で合併出来るクラブを斡旋して欲しい。
 - 13、ニコニコキャンプ等の全員登録は廃止出来ないか。
 - 14、退会防止策は例会日欠席者には手分けしてTELする事。クラブでの自分の存在感を意識する。
- IS、地区の研修会、協議会には積極的参加がクラブとロータリアン個人のレベルアップとなる。

※ 最後に「もっとも良く奉仕する者 もっとも多く報いられる」の言葉で締め括らせて頂きます。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30～13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか